

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）	
信託期間	信託期間は2020年12月11日から2030年10月10日までです。	
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	MAN AHL Diversified リンクファンド(SMA専用)	下記のマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	MAN AHL ダイバーシファイド リンク マザーファンド	UBS AG ロンドン支店が組成を取りまとめた海外籍特別目的会社の発行する円建債券を主要投資対象とします。
組入制限	MAN AHL Diversified リンクファンド(SMA専用)	外貨建資産への投資は行いません。
	MAN AHL ダイバーシファイド リンク マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	原則として、毎年10月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益の分配を行います。分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

MAN AHL Diversified リンクファンド(SMA専用)

運用報告書(全体版)

第3期（決算日 2023年10月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。さて、当ファンドはこのたび上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申しあげます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申しあげます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目1番1号

ホームページ <https://www.smtam.jp/>

- 口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル：0120-668001
(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

【本運用報告書の記載について】

- ・基準価額および税込分配金は1万口当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	債券先物率	純資産額
	(分配落)	税金	騰落率			
設定日(2020年12月11日)	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 0.5
第1期(2021年10月11日)	11,115	0	11.2	96.4	—	731
第2期(2022年10月11日)	12,701	0	14.3	98.0	—	845
第3期(2023年10月10日)	11,913	0	△6.2	97.2	—	501

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は「買建比率－売建比率」で算出しております。

当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物率
	騰落率	騰落率		
(当期首) 2022年10月11日	円 12,701	% —	% 98.0	% —
10月末	12,786	0.7	88.0	—
11月末	12,189	△4.0	94.9	—
12月末	12,093	△4.8	95.2	—
2023年 1月末	12,201	△3.9	95.4	—
2月末	12,224	△3.8	95.6	—
3月末	11,208	△11.8	95.3	—
4月末	11,375	△10.4	95.2	—
5月末	11,847	△6.7	96.7	—
6月末	11,824	△6.9	96.9	—
7月末	11,606	△8.6	97.1	—
8月末	11,401	△10.2	97.1	—
9月末	12,082	△4.9	97.4	—
(当期末) 2023年10月10日	11,913	△6.2	97.2	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

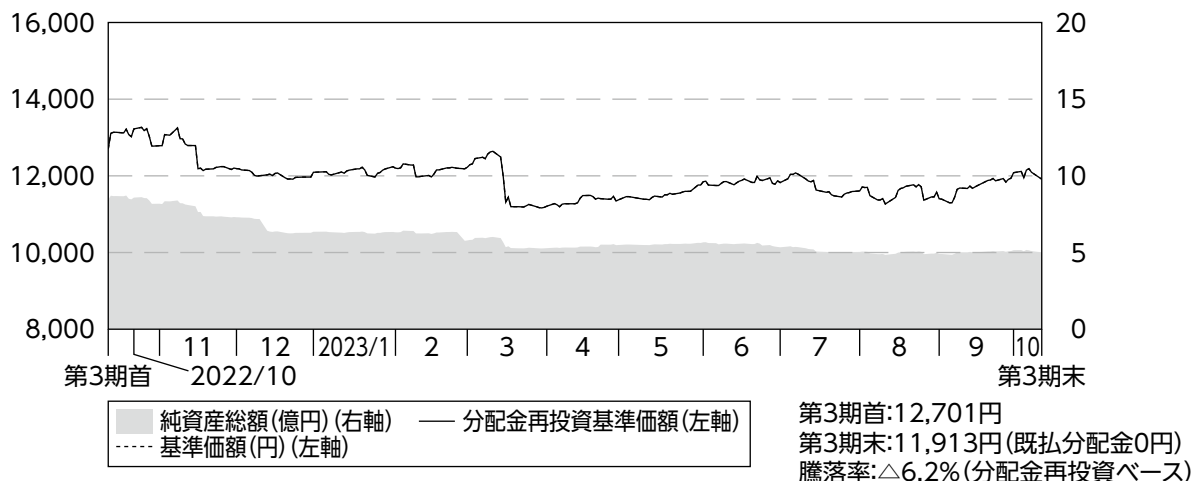
(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は「買建比率－売建比率」で算出しております。

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

当期中の運用経過と今後の運用方針

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2022年10月11日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。通貨、クレジット・セクターからは収益を獲得しましたが、コモディティ、株式、債券・金利セクターからは損失が発生しました。

コモディティ・セクターでは、2022年11月にエネルギーから損失が発生し、全体でマイナスに影響しました。米国の天然ガスのロング・ポジションなどが特にマイナスに影響しました。

株式セクターでは、欧州の銀行セクターの個別株のロング・ポジションのほか、欧州の保険や米国の銀行セクターの個別株のロング・ポジションなどから損失が発生し、マイナスに影響しました。

一方、通貨セクターでは、円が下落する中、円に対するユーロや英ポンドのロング・ポジションなどから収益を獲得しプラスに寄与しました。

投資環境

世界の株式市場は、米地銀の経営破綻を発端とした信用不安などを受けた調整を挟みつつも、世界的なインフレ基調の鈍化、欧州のガス価格の下落、中国のゼロコロナ政策解除と経済再開期待などを背景に上昇しました。世界の債券市場は、主要国の利上げペースの鈍化観測や米地銀の経営破綻を発端とした信用不安を受けて上昇（利回りは低下）する局面もありましたが、米国における中立金利の上振れ観測などを背景に下落しました。コモディティについては、種別ごとにまちまちの動きとなりました。原油については、期初から先行きの景気後退が懸念され軟調な推移が続き、2023年6月以降は主要国の利上げペースの鈍化観測などから上昇に転じましたが、期末にかけては燃料需要の後退とマクロ経済悪化を受けて下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

「MAN AHL ダイバーシファイドリンク マザーファンド」受益証券を高位に組み入れる運用を行いました。

【「MAN AHL ダイバーシファイドリンク マザーファンド」の運用経過】

AHL Partners LLPが運用する外国投資信託証券「Man AHL Diversified (Cayman) Ltd」(以下、「MAN AHLファンド」といいます。)の基準価額の値動きに概ね連動する円建債券の組み入れを高位に保つ運用を行いました。

<円建債券と「MAN AHLファンド」の連動性>

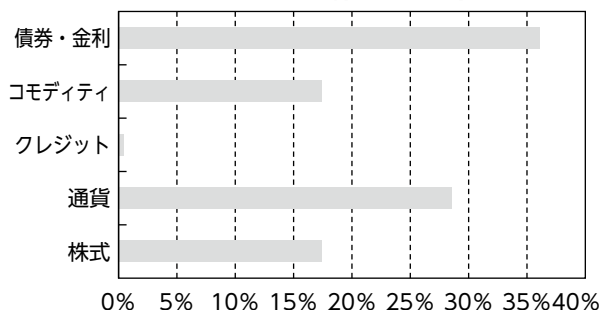
基準価額への反映期間(2022年10月7日～2023年10月5日)のパフォーマンス

MAN AHLファンド	△6.31%
円建債券	△6.54%
差異	△0.22%

差異の要因は、管理報酬等によるものです。

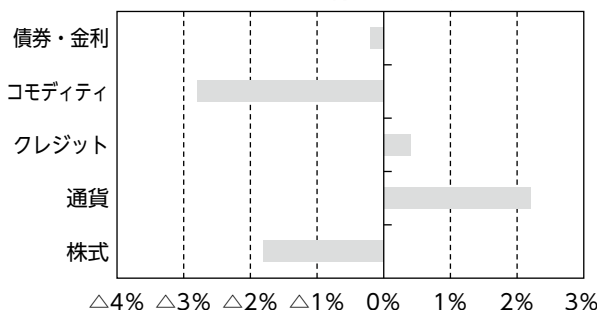
管理報酬控除後の円建債券のパフォーマンスは概ねMAN AHLファンドのパフォーマンスに連動しています。

セクター別リスク配分



※2023年10月5日時点のMAN AHLファンドのセクター別リスク配分です。

セクター別収益寄与度



※2022年10月7日～2023年10月5日のMAN AHLファンドのセクター別収益寄与度です。

<MAN AHLファンドについては、AHL Partners LLPからの情報に基づき掲載しています。>

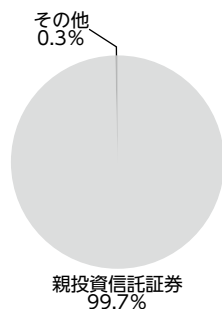
当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド

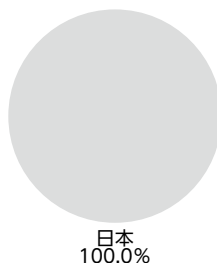
	当期末
	2023年10月10日
MAN AHL ダイバーシファイド リンク マザーファンド	99.7%
その他	0.3%
組入ファンド数	1

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

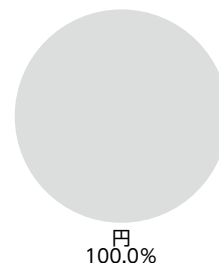
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。
その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

分配金

基準価額水準、市況動向等を考慮して、収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第3期	
	2022年10月12日~2023年10月10日	
当期分配金	(円)	—
(対基準価額比率)	(%)	(—)
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,913

(注1)「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)—印は該当がないことを示します。

今後の運用方針

MAN AHL ダイバーシファイド リンク マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてUBS AG ロンドン支店が組成を取りまとめた海外籍特別目的会社(SPC)の発行する円建債券に投資し、AHL Partners LLPが運用する外国投資信託証券「Man AHL Diversified (Cayman) Ltd」の基準価額の値動きに概ね連動する投資成果を目指します。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2022年10月12日~2023年10月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	43円	0.362%	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率 期中の平均基準価額は11,903円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(24)	(0.197)	
(販売会社)	(16)	(0.132)	
(受託会社)	(4)	(0.033)	
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(商品)	(—)	(—)	
(先物・オプション)	(—)	(—)	
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(公社債)	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(d) その他費用	4	0.031	(d) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
(保管費用)	(3)	(0.025)	
(監査費用)	(1)	(0.006)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	47	0.393	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

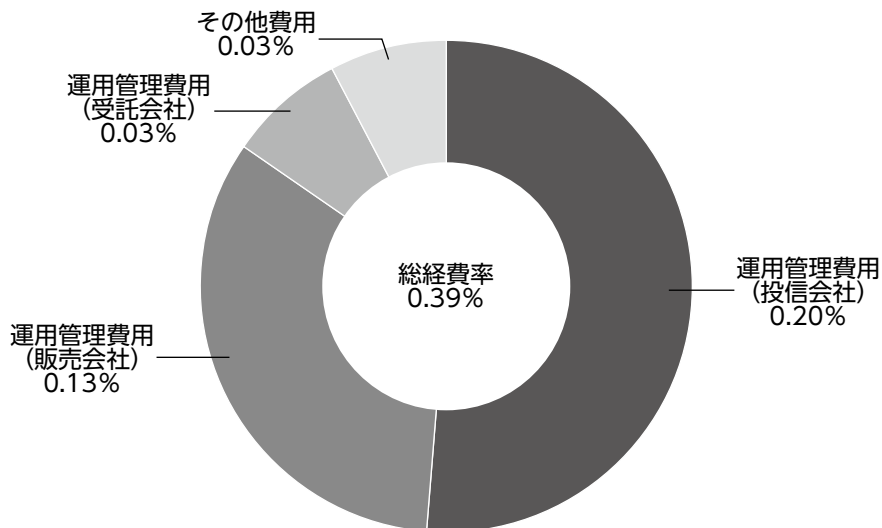
(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

<参考情報>

総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.39%です。



(注1)各費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)実質的に投資対象とする円建債券の価格に反映される費用等は含まれておりません。

(注5)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況

<親投資信託受益証券の設定、解約状況>

	当 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
MAN AHL ダイバーシファイド リンク マザーファンド	千口 35,603	千円 43,383	千口 275,066	千円 344,825

利害関係人^{*}との取引状況等

■利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金 銭 信 託	百万円 0.000136	百万円 0.000136	% 100.0	百万円 0.000136	百万円 0.000136	% 100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン	616	61	9.9	617	61	9.9

(注)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

<MAN AHL ダイバーシファイド リンク マザーファンド>

区 分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金 銭 信 託	百万円 0.488588	百万円 0.488588	% 100.0	百万円 0.488588	百万円 0.488588	% 100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン	239,275	26,871	11.2	238,679	26,933	11.3

<平均保有割合 2.8%>

(注1)平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合です。

(注2)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

※ 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

< 親投資信託残高 >

	当 期 首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
MAN AHL ダイバーシファイド リンク マザーファンド	千口 644,586	千口 405,122	千円 499,638

(注) 親投資信託の当期末現在の受益権総口数は、16,914,822千口です。

投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
MAN AHL ダイバーシファイド リンク マザーファンド	千円 499,638	% 98.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	8,073	1.6
投 資 信 託 財 産 総 額	507,711	100.0

資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	当 期 末 2023年10月10日現在
(A)資 産	507,711,386円
コール・ローン等	1,706,114
MAN AHL ダイバーシファイド リンク マザーファンド(評価額)	499,638,171
未 収 入 金	6,367,101
(B)負 債	6,333,265
未 払 解 約 金	5,367,101
未 払 信 託 報 酬	951,802
未 払 利 息	2
そ の 他 未 払 費 用	14,360
(C)純 資 産 総 額(A-B)	501,378,121
元 本	420,860,783
次 期 繰 越 損 益 金	80,517,338
(D)受 益 権 総 口 数	420,860,783口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,913円

■損益の状況

項 目	当 期 自 2022年10月12日 至 2023年10月10日
(A)配 当 等 収 益	△917円
受 取 利 息	5
支 払 利 息	△922
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△27,216,804
売 買 益	15,107,844
売 買 損	△42,324,648
(C)信 託 報 酬 等	△2,193,429
(D)当 期 損 益 金(A+B+C)	△29,411,150
(E)前 期 繰 越 損 益 金	66,969,044
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	42,959,444
(配 当 等 相 当 額)	(11,773,643)
(売 買 損 益 相 当 額)	(31,185,801)
(G)計 算 (D+E+F)	80,517,338
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	80,517,338
追 加 信 託 差 損 益 金	42,959,444
(配 当 等 相 当 額)	(11,773,553)
(売 買 損 益 相 当 額)	(31,185,891)
分 配 準 備 積 立 金	66,973,919
繰 越 損 益 金	△29,416,025

- (注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

※当ファンドの期首元本額は665,597,704円、期中追加設定元本額は55,702,585円、期中一部解約元本額は300,439,506円です。

※分配金の計算過程

項 目	当 期
(A) 配当等収益額(費用控除後)	－円
(B) 有価証券売買等損益額(費用控除後・繰越欠損金補填後)	－円
(C) 収益調整金額	13,543,419円
(D) 分配準備積立金額	66,973,919円
(E) 分配対象収益額(A+B+C+D)	80,517,338円
(F) 期末残存口数	420,860,783口
(G) 収益分配対象額(1万口当たり) (E/F×10,000)	1,913円
(H) 分配金額(1万口当たり)	－円
(I) 収益分配金金額(F×H/10,000)	－円

お知らせ

該当事項はありません。

MAN AHL ダイバーシファイド リンク マザーファンド

運用報告書

第8期（決算日 2023年10月10日）

当親投資信託の仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は2016年1月20日から無期限です。
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	UBS AG ロンドン支店が組成を取りまとめた海外籍特別目的会社の発行する円建債券を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

当親投資信託はこのたび上記の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

【本運用報告書の記載について】

- ・基準価額は1万円当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額
第4期(2019年10月10日)	9,699	13.9	98.4	—	12,811
第5期(2020年10月12日)	9,610	△0.9	98.7	—	14,572
第6期(2021年10月11日)	11,404	18.7	96.6	—	17,903
第7期(2022年10月11日)	13,094	14.8	98.1	—	26,676
第8期(2023年10月10日)	12,333	△5.8	97.6	—	20,861

(注) 債券先物比率は「買建比率－売建比率」で算出しております。

当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
(当 期 首) 2022年10月11日	13,094	—	98.1	—
10月末	13,187	0.7	88.1	—
11月末	12,575	△4.0	95.0	—
12月末	12,480	△4.7	95.4	—
2023年 1月末	12,594	△3.8	95.5	—
2月末	12,623	△3.6	95.8	—
3月末	11,580	△11.6	95.4	—
4月末	11,755	△10.2	95.4	—
5月末	12,248	△6.5	97.0	—
6月末	12,227	△6.6	97.1	—
7月末	12,006	△8.3	97.3	—
8月末	11,798	△9.9	97.2	—
9月末	12,507	△4.5	97.5	—
(当 期 末) 2023年10月10日	12,333	△5.8	97.6	—

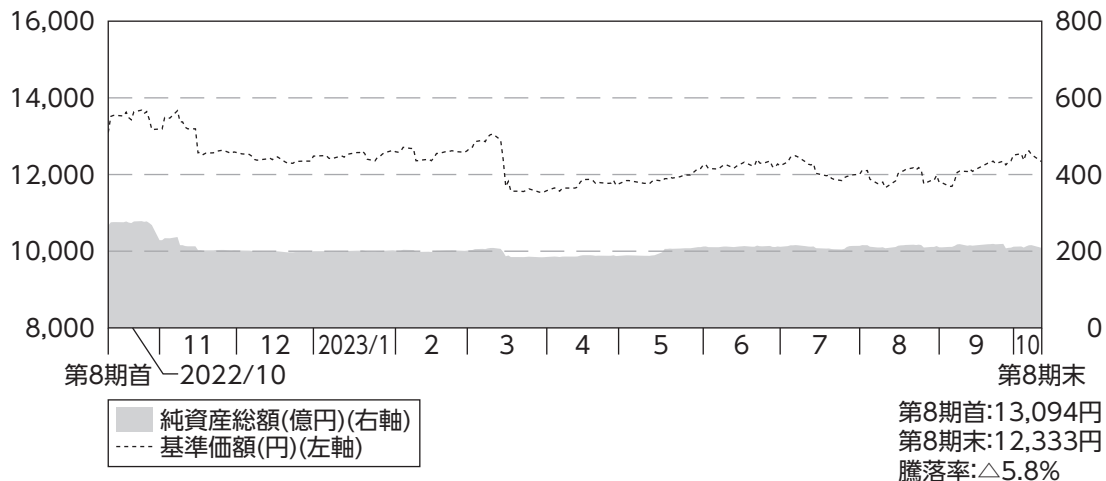
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は「買建比率－売建比率」で算出しております。

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

当期中の運用経過と今後の運用方針

基準価額等の推移



基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。通貨、クレジット・セクターからは収益を獲得しましたが、コモディティ、株式、債券・金利セクターからは損失が発生しました。

コモディティ・セクターでは、2022年11月にエネルギーから損失が発生し、全体でマイナスに影響しました。米国の天然ガスのロング・ポジションなどが特にマイナスに影響しました。

株式セクターでは、欧州の銀行セクターの個別株のロング・ポジションのほか、欧州の保険や米国の銀行セクターの個別株のロング・ポジションなどから損失が発生し、マイナスに影響しました。

一方、通貨セクターでは、円が下落する中、円に対するユーロや英ポンドのロング・ポジションなどから収益を獲得しプラスに寄与しました。

投資環境

世界の株式市場は、米地銀の経営破綻を発端とした信用不安などを受けた調整を挟みつつも、世界的なインフレ基調の鈍化、欧州のガス価格の下落、中国のゼロコロナ政策解除と経済再開期待などを背景に上昇しました。世界の債券市場は、主要国の利上げペースの鈍化観測や米地銀の経営破綻を発端とした信用不安を受けて上昇（利回りは低下）する局面もありましたが、米国における中立金利の上振れ観測などを背景に下落しました。コモディティについては、種別ごとにまちまちの動きとなりました。原油については、期初から先行きの景気後退が懸念され軟調な推移が続き、2023年6月以降は主要国の利上げペースの鈍化観測などから上昇に転じましたが、期末にかけては燃料需要の後退とマクロ経済悪化を受けて下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

AHL Partners LLPが運用する外国投資信託証券「Man AHL Diversified (Cayman) Ltd」（以下、「MAN AHLファンド」といいます。）の基準価額の値動きに概ね連動する円建債券の組み入れを高位に保つ運用を行いました。

<円建債券と「MAN AHLファンド」の連動性>

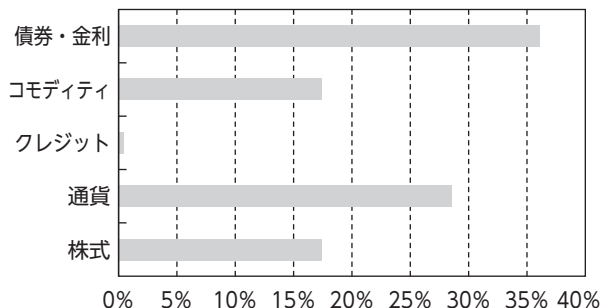
基準価額への反映期間(2022年10月7日～2023年10月5日)のパフォーマンス

MAN AHLファンド	△6.31%
円建債券	△6.54%
差異	△0.22%

差異の要因は、管理報酬等によるものです。

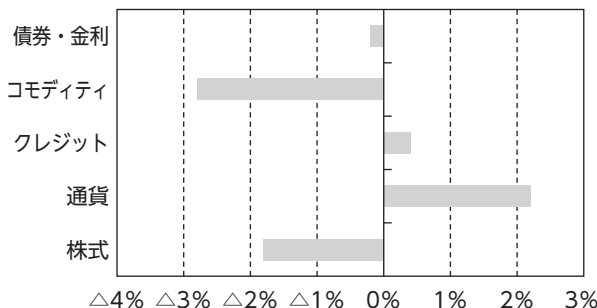
管理報酬控除後の円建債券のパフォーマンスは概ねMAN AHLファンドのパフォーマンスに連動しています。

セクター別リスク配分



※2023年10月5日時点のMAN AHLファンドのセクター別リスク配分です。

セクター別収益寄与度



※2022年10月7日～2023年10月5日のMAN AHLファンドのセクター別収益寄与度です。

<MAN AHLファンドについては、AHL Partners LLPからの情報に基づき掲載しています。>

当ファンドの組入資産の内容

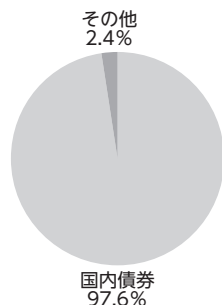
○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	STAR HELIOS 0% 02/12/26	アイルランド	97.6%
2	————	—	—
3	————	—	—
4	————	—	—
5	————	—	—
6	————	—	—

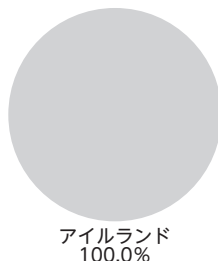
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	————	—	—
8	————	—	—
9	————	—	—
10	————	—	—
組入銘柄数		1	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

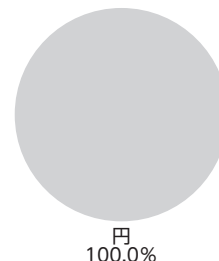
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

今後の運用方針

主として、UBS AG ロンドン支店が組成を取りまとめた海外籍特別目的会社の発行する円建債券への投資を通じて、AHL Partners LLPが運用する外国投資信託証券「Man AHL Diversified (Cayman) Ltd」の基準価額の値動きに概ね連動する投資成果を目指します。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2022年10月12日~2023年10月10日)		
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式) (新株予約権証券) (オプション証券等) (新株予約権付社債(転換社債)) (投資信託証券) (商品) (先物・オプション)	-円 (-) (-) (-) (-) (-) (-)	-% (-) (-) (-) (-) (-) (-)	(a) 売買委託手数料 = $\frac{[\text{期中の売買委託手数料}]}{[\text{期中の平均受益権口数}]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株式) (新株予約権証券) (オプション証券等) (新株予約権付社債(転換社債)) (公社債) (投資信託証券)	- (-) (-) (-) (-) (-)	- (-) (-) (-) (-) (-)	(b) 有価証券取引税 = $\frac{[\text{期中の有価証券取引税}]}{[\text{期中の平均受益権口数}]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	3 (3) (-) (0)	0.025 (0.025) (-) (0.000)	(c) その他費用 = $\frac{[\text{期中のその他費用}]}{[\text{期中の平均受益権口数}]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	3	0.025	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額(12,298円)で除して100を乗じたものです。

売買および取引の状況

<公社債>

		当 期	
		買 付 額	売 付 額
国内	社債券 (投資法人債券を含む)	千円 2,466,985	千円 7,257,085

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

利害関係人[※]との取引状況等

■ 利害関係人との取引状況

区 分	当 期			期		
	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
金 銭 信 託	百万円 0.488588	百万円 0.488588	% 100.0	百万円 0.488588	百万円 0.488588	% 100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン	239,275	26,871	11.2	238,679	26,933	11.3

(注) 当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

組入資産の明細

<国内(邦貨建)公社債>

(A) 債券種類別開示

区 分	当 期			期 末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
普 通 社 債 券 (含む投資法人債券)	千円 17,014,000 (17,014,000)	千円 20,354,290 (20,354,290)	% 97.6 (97.6)	% — (—)	% — (—)	% 97.6 (97.6)	% — (—)
合 計	17,014,000 (17,014,000)	20,354,290 (20,354,290)	97.6 (97.6)	— (—)	— (—)	97.6 (97.6)	— (—)

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) ()内は非上場債で内書きです。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

※ 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

(B) 個別銘柄開示

当		期		末	
銘柄名	利率 (%)	額面金額 (千円)	評価額 (千円)	償還年月日	
普通社債券(含む投資法人債券)					
STAR HELIOS 0% 02/12/26	0	17,014,000	20,354,290	2026/2/12	
合計		17,014,000	20,354,290		

投資信託財産の構成

項目	当 期 末	
	評価額	比率
公 社 債	千円 20,354,290	% 94.8
コール・ローン等、その他	1,113,466	5.2
投資信託財産総額	21,467,756	100.0

資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	当 期 末 2023年10月10日現在
(A) 資 産	21,467,756,538円
コール・ローン等	1,113,465,974
公社債(評価額)	20,354,290,564
(B) 負 債	606,368,599
未払解約金	606,367,101
未払利息	1,498
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	20,861,387,939
元 本	16,914,822,723
次期繰越損益金	3,946,565,216
(D) 受 益 権 総 口 数	16,914,822,723口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,333円

■損益の状況

項目	当 期 自 2022年10月12日 至 2023年10月10日
(A) 配 当 等 収 益	△546,964円
受 取 利 息	3,725
支 払 利 息	△550,689
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△1,031,547,936
売 買 益	311,681,734
売 買 損	△1,343,229,670
(C) そ の 他 費 用	△5,170,714
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△1,037,265,614
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	6,303,120,496
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	567,903,223
(G) 解 約 差 損 益 金	△1,887,192,889
(H) 計 (D+E+F+G)	3,946,565,216
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	3,946,565,216

- (注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注3) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈注記事項〉

※当ファンドの期首元本額は20,373,269,974円、期中追加設定元本額は2,802,480,140円、期中一部解約元本額は6,260,927,391円です。

※当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は次の通りです。

FOFs用 MAN AHL ダイバーシファイド リンクファンド(適格機関投資家専用)	10,728,707,299円
ヘッジファンドSMTBセレクション(SMA専用)	5,780,992,444円
MAN AHL Diversified リンクファンド(SMA専用)	405,122,980円

お知らせ

該当事項はありません。